

日青協ニュース

NISSEIKYO NEWS



一般社団法人

日本青果物輸出入安全推進協会

東京都大田区東海3丁目8-2

TSKビル3階

電話 03(6412)9977

No.858

平成28年10月25日

内容についてのご意見をホームページ「お問い合わせ」より、お寄せ下さい。

<http://www.fruits-nisseikyo.or.jp/inquiry/index.php>

輸入果物セミナーの開催

平成28年度日青協輸入果物セミナー(日青協会議室)が、日本青果物輸出促進協議会と共催で10月24日に行われた。

公益財団法人 中央果実協会の長谷川 美典審議役を講師に招き、1「果物の育種動向」(果樹生産・経営・消費の現状と果樹育種の方向性について、機能性表示)2「果物の流通と消費動向」(エチレンの作用、各種フィルムの性質、病気の種類で貯蔵環境がわかる、果実の酵素剥皮)について、講演が行われた。

日青協会員及び協議会の会員あわせて、14社19名が参加し、終了後熱心な質疑が行われた。

セミナーの内容

1. 日時:平成28年10月24日(月)13時30分～16時40分
2. 会場:日青協会議室(東京都大田区東海3-8-2 TSKビル3階)

3. プログラム

「最近の果樹の育種動向と消費動向」

講師:公益財団法人 中央果実協会 長谷川 美典審議役

(1) 果樹の育種動向 13時30分～15時00分

内容:果樹の育種については、国や地方自治体の試験研究機関において、消費者に好まれる形質や生産性・栽培性を考慮しながら改良に努めてきています。果物の品種の変遷と今後の育種目標、最近の新品種について解説します。

(2) 果物の流通と消費動向 15時10分～16時40分

内容:果実を採りたての美味しい状態で消費者に届けるため、コールドチェーン、容器・包装、輸送方法、貯蔵技術について、果実の成熟生理に伴った対応が必要なことを解説するとともに、果物の消費動向について解説します。

受講風景



1「果物の育種動向」より

我が国の果樹育種の方向性

(1) 実需者ニーズ、消費者ニーズへの対応について

- 美味しさ
- 食べやすさ
- 早生性・日持ち性(流通期間の拡大)
- 機能性
- 省力・低コスト・多収・病虫害抵抗性
- 生産安定性(生理障害など)
- 加工用

(2) 近年のゲノム研究成果に基づく新たなシーズについて

- DNAマーカーによる果樹育種の加速化
- 多数のDNAマーカーに基づくデザイン育種

